



明治30年代の小浜温泉

写真に見る

115年前の長崎

日露戦争時代

姫野 順一

□ 17 □

な建物は旅館浜松屋。大正830人、外国人261人同区間に小浜鉄道が開通する時代の記録では横に岩田の宿泊記録がある。国内客は昭和13(1938)年に営業不振で廃業となる。大正15年、これは昭和13(1938)年に営業不振で廃業となる。

(長崎外国語大学長)

海岸には左から豊後湯、

明治湯、天徳湯、新湯の露天風呂の湯壺が並ぶ。泉源

天風呂の湯壺が並ぶ。泉源

明治湯、天徳湯、新湯の露天風呂の湯壺が並ぶ。泉源

外国人も利用海の温泉郷

全国一の放熱量を誇り、浜に入徳湯を開設した。貞享元(1684)年のころ、本多家が湯太夫となる。文政9(1826)年には出島田が浴場を開設したとき島の薬学者ヒュルガーが温泉分析を実施した。苛政で島原の乱を引き起こした藩主松倉豊後守重政が愛用し、入浴中に急死したとされる温泉は、豊後湯と呼ばれた。慶安元(1651)年には唐僧で医者えがくちの頼川入徳が

ばは共同浴場、背後の大きな建物は旅館浜松屋。大正830人、外国人261人同区間に小浜鉄道が開通する時代の記録では横に岩田の宿泊記録がある。国内客は昭和13(1938)年に営業不振で廃業となる。大正15年、これは昭和13(1938)年に営業不振で廃業となる。



大正の
に在る
大正の
に在る

随時掲載します

訂正 5日付本企画「佐占墳墓」招魂社の記事で、

「現佐占小学校校横」とあるのは、「旧仁田小横」の誤りでした。